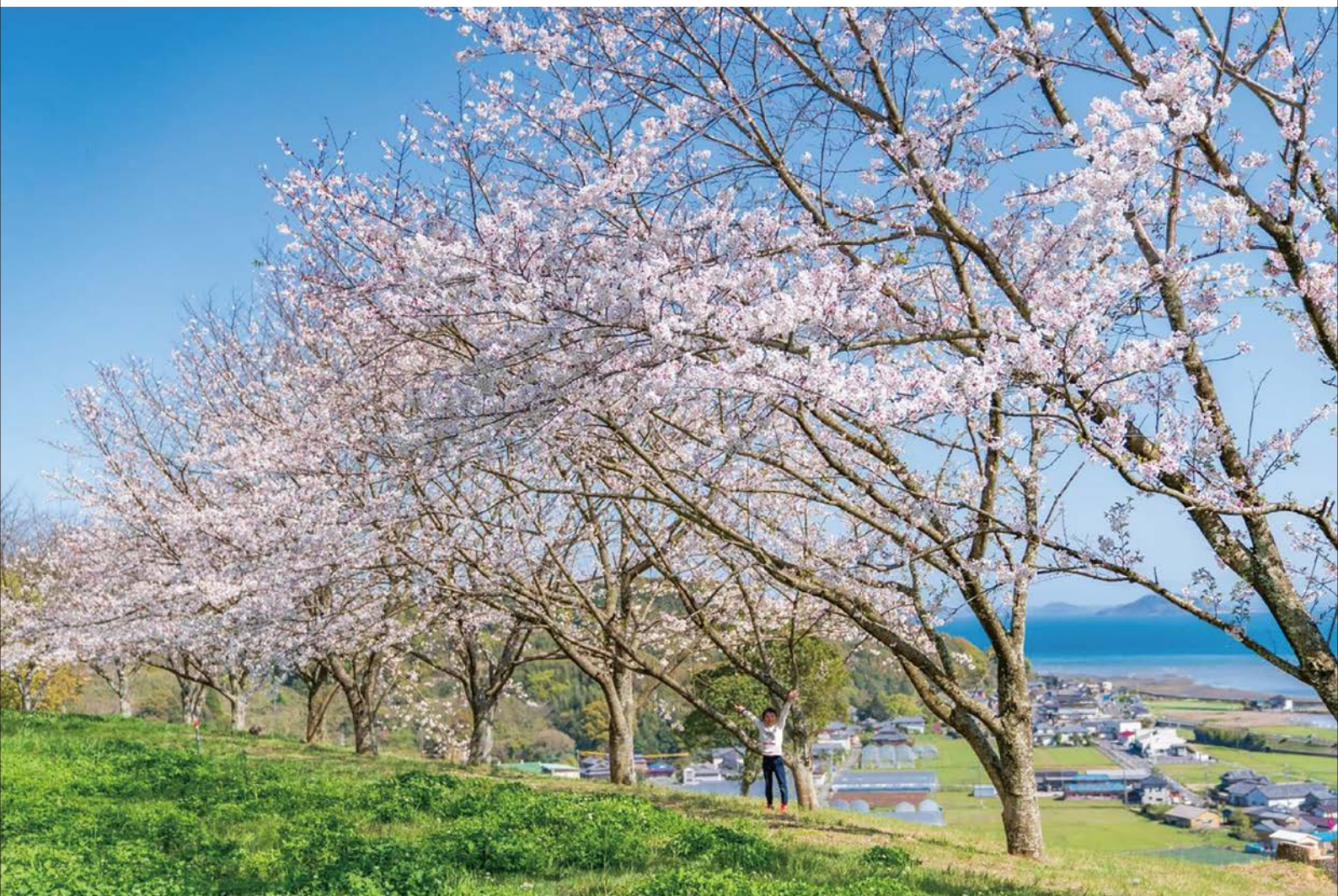


みなみしまばらし 議会だより

NO.72
令和6年
4月30日発行



「日野江城跡」 撮影：林田拓郎

| CONTENTS |

- 令和6年度一般会計・特別会計・企業会計当初予算 …………… P 2 ～ P 3
- 令和5年度一般会計・特別会計補正予算 …………… P 4
- 一般質問 …………… P 5 ～ P12
- 委員会活動 …………… P13～ P16
- その他 …………… P17～ P20

R6 令和6年度 特別会計当初予算

86億3,248万4千円 **可決**

前年度比:839万5千円の減(0.10%減)

国民健康保険事業

78億775万6千円

主な歳入・歳出予算

国民健康保険税

歳入 13億8,912万円

保険給付費

歳出 56億8,578万6千円

後期高齢者医療

8億2,472万8千円

主な歳入・歳出予算

後期高齢者医療保険料

歳入 5億6,717万4千円

広域連合納付金

歳出 8億1,463万9千円

R6 令和6年度 公営企業会計当初予算

29億3,683万8千円 **可決**

前年度比:8,994万9千円の増(3.16%増)

水道事業会計

19億4,570万6千円

(前年度比:0.25%減)

業務の予定量

- 給水戸数/18,212戸
- 年間総給水量/5,112,000m³
- 一日平均給水量/14,000m³
- 建設改良事業/緊急時給水拠点確保等事業(重要給水施設配水管)外

下水道事業会計

9億9,113万2千円

(前年度比:10.58%増)

業務の予定量

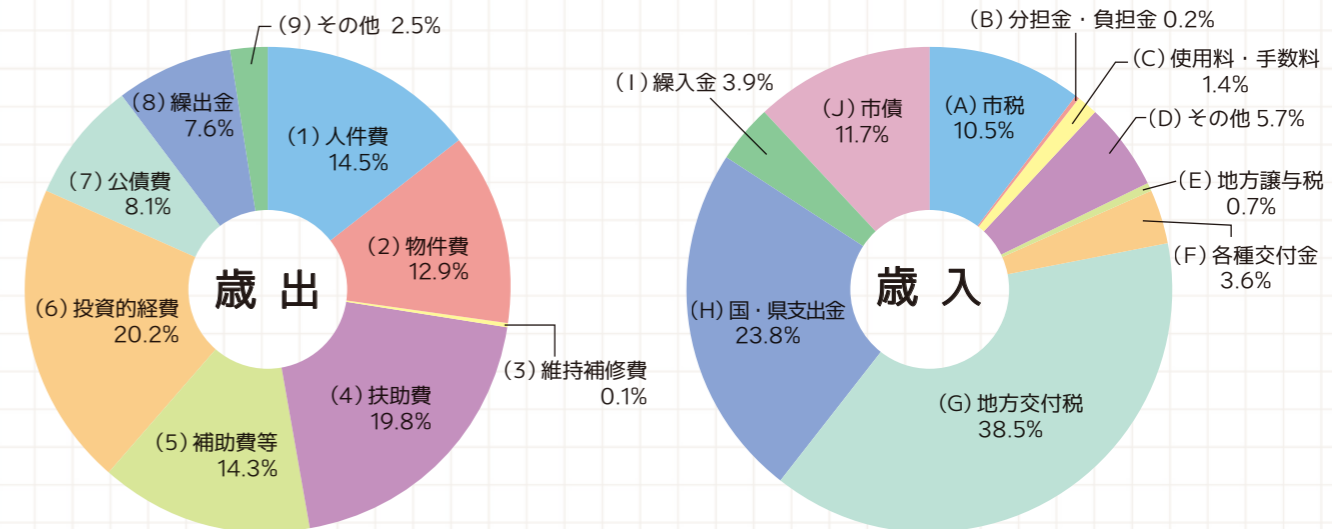
- 接続戸数/1,852戸
- 年間総処理水量/531,841m³
- 主な建設改良事業の概要/開田雨水ポンプ場改築・更新事業外

令和6年度一般会計当初予算

総額 327億3,406万5千円 **可決**

前年度比:19億2,239万8千円の増(6.24%増)

第1回定例会(2月22日開会~3月22日閉会)で審議しました令和6年度一般会計当初予算は、3月5日~7日の3日間、予算審査特別委員会を開催し、審議を行いました。



南島原市の一般会計当初予算を、年収300万円の家庭の家計簿に例えると…こんな感じです。

〈歳出(支出)〉

一般会計当初予算(千円)	家計簿に例えた場合(円)
(1) 人件費	4,736,603
(2) 物件費	4,228,445
(3) 維持補修費	35,637
(4) 扶助費	6,471,892
(5) 補助費等	4,688,581
(6) 投資的経費	6,601,547
(7) 公債費	2,651,495
(8) 繰出金	2,503,494
(9) その他	816,371
合計	32,734,065

〈歳入(収入)〉

一般会計当初予算(千円)	家計簿に例えた場合(円)
(A) 市税	3,430,237
(B) 分担金・負担金	57,420
(C) 使用料・手数料	464,510
(D) その他	1,859,673
(E) 地方譲与税	238,000
(F) 各種交付金	1,213,800
(G) 地方交付税	12,600,000
(H) 国・県支出金	7,786,583
(I) 繰入金	1,263,542
(J) 市債	3,820,300
合計	32,734,065

市債の状況

区分	令和6年度末現在高見込
臨時財政対策債	635,240千円
臨時財政対策債以外	21,033,568千円
合計	21,668,808千円
市民一人当たりの金額(円)	520,247円

基金の状況

基金名	令和6年度末現在高見込
財政調整基金	2,844,968千円
減債基金	2,842,762千円
特定目的基金	10,914,303千円
合計	16,602,033千円



一般質問

第1回定例会での質問の一部を紹介します。

議会を動画で見よう！

◆「QRコード」をスマートフォンなどで読み取ると、インターネットで録画配信している本会議全体の様子をご覧いただけます。

◆一般質問記事の内側にある「QRコード」を読み取ると、その議員の一般質問の動画が視聴できます。



南島原市議会 中継



ユニティスペース、簡易

地域振興部長 道の駅ひまわり

の。カ

議員 サテライトオフィ

スとはどのような施設な

か。

地域振興部長 現在、施設

内の遊休施設をサテライ

トオフィスに改修する事

業が行われており、順調

に工事が進んでいる。

議員 令和5年度当初予

算執行は、予定どおりに

進んでいるのか。

議員 道の駅ひまわりにつ

いて

道

の駅ひまわりにつ

いて

議員 令和5年度当初予

算執行は、予定どおりに

進んでいるのか。

議員 道の駅ひまわりにつ

いて

道

の駅ひまわりにつ

いて



中村 哲康 議員

道の駅ひまわりの運営状況は

市長 修学旅行等の予約も多く入り順調に運営されている。

宿所であったりと、テレワークができるような施設で事務所を貸し出す等、そういったことができる施設ということで事業を進めている。

農業振興について

議員 農地利用最適化推進委員の実績等を伺う。

農業委員会事務局長 月1

人当たり7日の活動を行

うてくださいますという計

画をされている。ただ、推

進委員の活動については目

に見えないような活動をさ

れているといった状況で

はないと感じている。

議員 今後どのような活

動をするのか。

農業委員会事務局長 計画

ののつとって遊休農地の

解消や新規参入に係る活

動等を推進していく。

議員 工事関係の負担金

は4市どのような形にな

っているのか。

環境水道部長 ごみ量割1

00%という形になる。

南部リレーセンターについて

議員

工事関係の負担金

は4市どのような形にな

っているのか。

環境水道部長 ごみ量割1

00%という形になる。



農地バトロール

自転車歩行者専用道路について

議員 以前伺っていた農

業者の畑に入る道路の件

はどうなったのか。

建設部長 耕作車両につ

いては、届け出を行う形

で通行できるような手続

を検討する。

議員 ごみ減量対策はど

のように考えているの

か。

環境水道部長 家庭から出

る生ごみ削減のため、電

気式の生ごみ処理機購入

の助成を行っており、令

和5年度からは補助率5

分の4、上限額を4万円

に拡大している。



質問の様子を動画で見よう

R5 令和5年度 一般会計補正予算 (第9号)

補正額 2億3,249万5千円 増額

承認

低所得世帯支援給付金給付事業に要する経費

- 住民税均等割のみ課税世帯分 (10万円/1世帯) 1億7,079万6千円
- 低所得の子育て世帯への加算分 (5万円/児童1人) 6,169万9千円



R5 令和5年度 一般会計補正予算 (第10号)

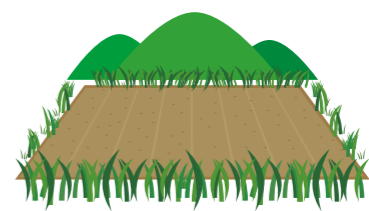
補正額 5億4,293万7千円 増額

可決

畑地帯総合整備事業 (国補正1号) 3,560万円

学校施設整備基金 1億円

減責基金 9億9,431万5千円



R5 令和5年度 一般会計補正予算 (第11号)

補正額 770万円 増額

可決

地域介護・福祉空間整備事業 (国補正1号)

- 市内事業者の施設改修等事業に対する支援 770万円



R5 令和5年度 後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)

補正額 1,453万4千円 減額

可決

後期高齢者医療広域連合保険基盤安定負担金の額の確定による減額



地域計画策定の進め方は

市長 令和7年3月までに策定する計画。



酒井光則 議員

農業振興について

議員 地域計画を活用した農業振興の内容は。

農林水産部長 基盤整備事業、ソフト事業、ハード事業に取り組み農業振興につなげていく。

空き家対策について

議員 空き家に関する法改正の内容は。

建設部長 管理不全空家の区分が新設され、固定資産税の軽減措置が適用されなくなることがある。
議員 空き家の増加を抑える施策は。
市長 人口減少を抑える

ドローンの活用について

市長 市民生活の向上にしっかりと繋げていきたい。



日向栄司 議員

医療や介護の連携体制を構築する在宅医療介護連携推進事業について

議員 令和5年度の具体的な取組は。

市長 医療・介護などの多様な職種の相互理解を深めるための研修6回をはじめ、事業所などからの相談に応じる取組、また入退院支援連携のガイドブック等、在宅医療の手引の利用状況の評価や見直しを検討するようにしている。

議員 市の医療と介護の連携について現状を把握されているか。

ため、この地域でしっかりと生計を立てていけるような状況をつくり上げなければならない。

自然災害について

議員 自然災害への備えは。

総務部長 県が示す備蓄の目安で、人口の5%の3日間分の食料品や飲料水、その他備蓄の資機材を備えている。
議員 大規模災害の備えは。

総務部長 国や県、近隣自治体との協力が要で国土交通省九州地方整備局と大規模災害時の応援に関する協定を締結し、島原市、雲仙市、諫早市と災害時の相互応援協定を締結している。
議員 津波発生に備え高台にも避難所が必要ではないか。
総務部長 津波発生時は高台に逃げるという意識を住民の方々に持つていただければ、被害が最小限にとどまると考える。

外国人労働者の雇用に

議員 検討状況は。

地域振興部長 これまで監理団体や登録支援機関の役割を、市が担えるか協議を行ってきたが、市が外国人労働者の斡旋的支援を行うことは簡単なものではない。しかし労働者の確保は市の産業発展のために重要な課題と考えており、引き続き関係機関と連携して協議していく。

介護職員不足の政策について

議員 検討状況は。

福祉保健部長 就職支援、ケアマネの資格等の補助事業を令和7年度から実施。介護人材確保対策事業の検討、また介護現場の負担軽減を図るために、電子申請・届出システムの導入など計画に盛り込

加津佐町の医療体制について

議員 令和6年度に診療所の開設・継承と在宅医療などを推進する市独自の支援制度を創設することだが時期の目安は。

市長 県や地元医師会等の意見を聞き、令和6年度の早い段階で支援制度を創設し、関係団体の協力をいただきながら誘致活動に取り組みでいく。

その他の質問

陸上自衛隊水陸機動団の前浜、野田浜での訓練について

	市全体	深江	布津	有家	西有家	北有家	南有家	口之津	加津佐
特定空家	15	0	2	4	0	2	2	3	2
管理不全空家	184	11	15	41	31	26	14	24	22
一部修繕	666	69	51	102	117	50	69	113	95
利活用可能	605	80	52	68	78	47	56	104	120
判定不可	312	40	29	28	60	41	17	46	51
計	1,782	200	149	243	286	166	158	290	290



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

DXにおける令和6年度のアクションプランについて

議員 前年度と内容が変わるのか。

総務部長 具体的な実行計画及び進捗管理を行うアクションプランについてはローリング方式により社会情勢や住民ニーズの変化に合わせて修正している。

デジタル田園都市国家構想について

議員 補助金の申請に災害対策や観光に使えるドローンについて、話し合いの中で出てきたことはあるのか。

総務部長 ドローンも案に出ていたがアクションプランの中で具体的に検討しなければいけない事案があるので現段階では取り入れる見込みはない。



未来の空飛ぶ自動車

補助金の見直しについて

市長 市単独の補助金の見直しに取り組む。



田中次廣 議員

議員 補助金を見直すとのことだが、どのように取り組むのか。

市長 今後厳しい財政運営が見込まれるので、合併以降増加してきた市単独の各種補助金の見直しに取り組むために、「補助金等の適正化に向けた基本方針」を策定した。この基本方針に基づき補助金の適正化に努める。
議員 見直しについての基本的な考えは。
総務部長 見直す補助金は、市独自の補助金、交付金、扶助費とし、実績報告の確認など13項目を

自転車通勤をまず第一に市職員に対し促す考えは。

市長 自転車通勤が可能な人はできるだけお願いします。



松永忠次 議員

人口減少対策について

議員 堂崎港埋立地への企業誘致を早急にすべきと思うが。

市長 最短で令和7年度初め頃長崎県から土地を購入できるものと考えている。企業等設置奨励事業など優遇措置制度を見直し企業の進出を促進し、国や県など関係機関を通じて周知を図っている。
議員 一括購入できるのか。
市長 一括購入して次の準備に取りかかりたい。
議員 以前、副市長が先頭になり東京や大阪など

設け検討を行い、令和6年度から見直しを進め、7年度当初予算への反映を目指して取り組む。
議員 丁寧な説明や実績報告の確認など十分に行い、できるだけ理解を得ながら進めていただきたい。

ど行っている。また、使用していない施設があるので、基本料の見直しや契約解除など行う。
議員 今後も削減できるものはないか調査を行い、経費削減に取り組んでいただきたい。

議員 廃校により、社会教育施設に移行した契約電力の見直しを行うべきとの質問を行っていたが、その後の取組状況は。

教育次長 新切体育館など4施設の契約電力の低減工事の結果、年間試算で130万円程度の電気料の削減効果が出ている。
議員 他の施設の経費見直しの取組状況は。

総務部長 平成29年度から令和5年度末で4億4,300万円が廃止・除却により維持管理費(電気代、水道代)が削減できている。現在、空調の使用も必要最低限にとどめたりパソコンの休止状態の徹底な

いろいろなところに企業誘致を推進したいとのことであったが、今の状況は。
副市長 まだ未確定である。
議員 市長、副市長には、今以上にトップセールスマンになってほしい。

ウォーキングイベント、旧駅舎を活用したイベントなどを現在計画しているところ。
議員 島原市も自転車道路を整備しようという動きがある。両市で提携を組んで促進したほうがいいのでは。
市長 島原市からも連携するような協議の申し出もあっており、詳細事項の確認を進めているところ。

その他の質問

〇南島原観光PRRについて



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう



廃校に伴い社会体育施設に移行した体育館

議員 予算が可決したら、早急に取り組んでいただきたい。

議員 今回真砂の維持管理の予算が計上されているが、どのような改修を予定しているのか。

地域振興部長 客室等の畳の取り替え、ふすま・壁紙の張り替え、寝具・ベッドの交換やサウナ室など施設の改修など予定している。

建設部長 概算額で30億円になる。
議員 地方交付税額は。14億円と認識している。
議員 残りの6億円は。市の負担額が6億円。
議員 人口一人当たりの負担額は。1万4千円。
建設部長 自転車道路の活用方法は何かあるのか。
地域振興部長 九州オウルレ南島原コースと連携した



自転車歩行者専用道路の財源

本市再エネ推進事業に潮流発電を組み込むべき。

市長 担える部分は積極的に支援する。



限部和久 議員

再生可能エネルギーについて

議員 昨年末、早崎潮流発電推進研究会による実証実験が、口之津町早崎沖で行われた。市長及び市職員も視察されていたが、今後どのように関与していく考えか。

市長 私や職員のみならず、市内外から約50名程度が視察に訪れ、また各メディアによる報道がなされ注目された。この方式は係留浮体式で潮流に合わせて可変できる垂直軸水車を使った、国内初の試みであり、大変有意

義な実験だった。本市における活用可能な再生エネ資源の一つとして期待しており、今後、市が担える業務については積極的に支援していきたい。

議員 今回の実証実験で多くのデータ収集がなされたが、実用化に向けて、今後、様々な調査、研究が必要であり、それには経費がかかる。市長の所信表明に、脱炭素政策の推進や、地産地消型のエネルギーシステム構築に注力するとのあるが、まさにこの潮流発電の技術が確立されれば、本市の目指す政策とも合致し、さらに、将来的に雇用に寄与する可能性も期待される。本市再エネ政策に組み込み官民挙げて推進すべきである。

副市長 現在、国の支援を受け、分散型エネルギーインフラプロジェクトという調査事業を行っている。潮流発電についても将来の再エネ事業と位置づけて調査研究していく方向で国等と折衝している。

協働するのはどうか。
市長 Vcanは新聞にも紹介されていた。市もこういう皆さん方の活動にどういった形で協力できるかということであるが、支援をしていきたいとは思っている。

带状疱疹ウイルスワクチンの助成は

市長 令和6年度当初予算に200万円の助成費を計上している。



寺澤佳洋 議員

带状疱疹ウイルスワクチン助成金について

議員 対象者などは。
市長 対象者は50歳以上とし、対象者数を140名と見込んでいる。

福祉保健部長 事前の申込者の中で年齢の高い順から助成対象者に決定する。また、2種類のワクチンから希望するワクチンを選択していただく。

HPVワクチンに関して

議員 ワクチン啓発に向けて、【若者にHPVワクチンについて広く発信する(Vcan)】などと

市内業者の育成について

議員 水道工事や電気工事等、住宅設備に関する業者の減少を懸念している。住民の生活に直接影響があり、このままでは将来「住み続けられないまち」になる。これらの業種の後継者育成に対する行政の方策を、本気で取り組む時期ではないか。

建設部長 現在は具体的な施策は行っていないが、若手の技術者の人材確保は、国の事業として推進している。本市も、他自治体、関係各団体の状況と併せて、検討していきたい。



潮流発電の実証実験



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

質問できるサービスに感謝をしている」といった声を頂いた。

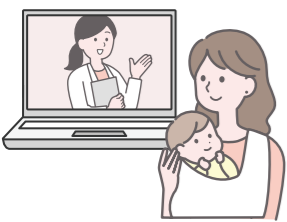
議員 今後の方針は。
福祉保健部長 来年度本格導入することになっている。

原城世界遺産センターについて

議員 予算の見積りや完成時期は。
教育次長 事業費は、13億8千万円程度、市の実質的な負担は約2億4千万円程度で、令和6年度中に造成、建築、展示工事に着手し、令和8年度に供用開始を目指す。

その他の項目

○医療・看護体制の整備・確保について
○介護負担の軽減について
○チョイソコみなみしまばらについて



能登半島地震のような突然の災害に備えた対策はあるのか。

市長 地域防災計画を策定し、各種災害に備えている。



永池充宏 議員

南島原市地域防災計画について

議員 能登半島地震では大きな被害を受けているが、南島原市では災害に備えてどのような対策をとっているのか。

市長 市の防災体制を確立し、市民の生命・財産を保護し、被害を最小限に軽減するため、南島原市地域防災計画を策定している。また、震度4以上の地震や各種の気象警報が発令された時、災害警戒本部を設置し、必要に応じて災害対策本部へと移行する。

消防団員、準中型免許取得対象人数は

総務部長 約70名。



松本添花 議員

スクールバスについて

議員 土日のスポーツクラブ等で試合や遠征時に利用できないか。

教育次長 運行管理を業者に委託している。任意保険についても委託した運行業者で加入する契約になっているため、現時点での活用は難しい。今後、他市の活用事例等があれば調査していきたい。

議員 タイヤチェーン購入のその後の対応は。
教育次長 購入手続を進めており、年度内に16台分全て購入予定である。

議員 突然発生する災害に備える本部の初動体制は確立されているのか。

総務部長 災害が起こった時、即時に連絡を取り登庁できる体制を準備している。

議員 避難所の設置と運営はどのように行っているのか。また、運営上の問題点はないのか。

総務部長 各避難所原則2名体制で運営しており、運営上の問題点は特にないと考えている。

議員 市内には多くのため池があるが防災点検は行っているのか。
農林水産部長 市内463か所のため池のうち80か所が防災重点農業用ため池に指定され、危険度の高いため池については現在改修工事を進めている。
議員 島原半島東部断層の危険性は。
総務部長 熊本地震と同等程度と評価しており、改めて備えていきたい。
議員 今後災害に対する備えをしっかりと行っていたらいい。

ふるさと応援寄附金について

議員 本年度の受入額は、地域振興部長 昨年は7億340万円で、本年度は令和6年2月25日現在10億3千万円。

議員 今年伸びた要因は、地域振興部長 野菜・果物の定期便の利用者が増えたことが考えられる。
議員 返礼品のジャンル別の割合は。
地域振興部長 野菜・果物が47%、麺類が37%などとなっている。

議員 肉類の利用が伸びればもっと大幅な利用額の向上が期待できる。一層の努力をお願いしたい。

その他の項目

○自転車歩行者専用道路について



南島原市のふるさと応援寄附金返礼品



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

自主防災組織について

議員 自主防災組織の補助金で資機材購入や避難訓練等行えるのももっと周知してほしい。
総務部長 年度当初の自治会長会議で、再度周知徹底をしていく。

消防団について

議員 人口減少に伴い団員確保が難しく、団の統合を考える時期では。
総務部長 各地区の団の状況もあるので、市の消防団、各分団と協議のうえ進めていきたい。

議員 安全、安心に暮らせるまちづくり、災害に強いまちづくりへと行政側も団員と共に防災組織の再確認をし、今後ますます団結していかなければと考える。



小学一年生の帽子 (左:男子 右:女子)

建設工事等にかかる最低制限価格の見直しは

総務部長 令和6年度から改正する予定である。



田中克彦 議員

不登校児童生徒への支援について

議員 現在、不登校児童生徒への支援の状況は。

教育長 南島原市適応指導教室「つばさ」で、不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立促進支援、スクールカウンセラーによる児童生徒へのカウンセリングや保護者との教育相談、必要に応じてスクールソーシャルワーカーによる福祉的支援を行っている。令和6年度からは、県教育庁が不登校児童生徒の教育機会の確保及び将来の社会的自立

窓口業務のデジタル化でどのように便利になったのか

市長 市民の負担を軽減するシステムとなっている。



井上修一 議員

窓口業務のデジタル化について

議員 昨年2月1日から、本市で始められた電子申請サービスだが、一部自治体において、このサービスを利用して、来庁せずに自宅にて住民票、戸籍謄本など、各種証明書の申請発行手続きができるところがあるが、本市では導入できないのか。

旧口之津庁舎跡地活用について

議員 旧口之津庁舎跡地活用の構想はあるのか。

総務部長 現時点ではない。
議員 旧口之津庁舎跡地等の活用については、地域を巻き込み、知恵を借りながら実現していくということを政策の中に入れていただきたい。
市長 地域の皆さんが心を一つに地域おこしをして先々につなげていきたいという思いは、大変ありがたい。行政としても

最低制限価格の発注基準について

議員 工事等の最低制限価格の見直しを検討することであったが、その結果は。

総務部長 令和6年度から建設工事の最低制限価格及びランダム係数について改正を行う予定である。

最低制限価格	~R6.3	~R6.3
解体工事	80%	92%
通常の土木工事	90%	92%
ランダム係数	~R6.3	~R6.4
事前ランダム係数	0.999~1.001	1.000~1.001
公開ランダム係数	0.995~1.005	1.000~1.010

最低制限価格等の変更点

その他の質問

〇オーガニックブレッド宣言について



旧口之津庁舎跡地

技術を活用した罹災証明書発行の迅速化を図ることができないのか。
総務部長 被災された方の生活再建が円滑に進むように、ICT以外でもデジタル技術を活用した罹災証明書発行の効率化に取り組んでいきたい。

災害に強いまちづくりについて

議員 避難所のトイレの備蓄数はいくつか。

総務部長 非常用仮設トイレ62基、障害者用仮設トイレ8基、計70基備蓄している。
議員 この数は、過去の災害や国際基準から、最大想定避難者数割る50人が妥当とされているが、その点はどうなのか。
総務部長 先日の能登半島地震においても、水道が被害を受けたということ、トイレの問題が大きくクローズアップされており、昨今の状況を踏まえて、拡充して備えていく必要がある。

罹災証明書発行の迅速化について

議員 トイレ同様、度々取り上げられる問題であり、住家被害認定調査にかかる時間を大幅に短縮できるICT、情報通信



▶チャイソコパベルティックス(チャイソコパ会員登録者に配布)

人口減少は女性が鍵、女性農業者年金に市独自の補助金を

市長 人口減少は皆さんと一緒に議論を進めていく。



黒岩英雄 議員

人口減少対策について

議員 南島原市の農業人口を知りたい。

市長 平成17年7、773人が令和2年4、047人、ここ15年で減少率としては、約48%である。
議員 農業後継者不足の対応は。
市長 スマート農業の推進により所得向上を目指し、若者に魅力的な産業とする取組や基盤整備推進により農地集積の加速化及び生産効率化に取り組んでいる。
議員 北有馬農業者婦人の家が廃止されたがそれ

市内8支所の維持は

市長 現状では極めて厳しい。



末統浩二郎 議員

組織機構・職員配置について

議員 支所を配置し利便性の向上を図ってきた。職員が減少する中維持できるのか。

市長 人口減少、職員定数、施設の維持管理等踏まえると極めて厳しい。段階的に集約する必要があると考えている。
総務部長 市役所の組織体制の維持も難しい。令和6年度に検討委員会を設置し検討したい。
議員 支所は市民にとり最も身近な行政である。市民に十分な理解を求め

に代わるイメージアップをどのように考えているのか

農林水産部長 女性グループの設立を推進しなければと考えており、支援策は検討していきたい。
議員 農家の嫁不足の対策を聞きたい。
農業者年金事務局長 研修会の開催や結婚に向けたイベントなどの情報提供を行っている。
議員 政府は、少子化移行の打開には女性の定着が鍵と握ると表明されたが、女性農業者の年金制度は。

農業者年金事務局長 農業者年金制度は、農業者から広く加入でき、一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助が受けられ、税制面での大きな優遇措置がある。また、女性単独で加入でき、女性農業者の長い老後をしっかりとサポートし、女性にも優しい内容となっている。
議員 国民年金は1か月1万6千520円、それに農業者年金を個人で掛けるとなると女性農業者

に代わるイメージアップをどのように考えているのか

南島原市の農業者数一覧(旧町別)

	深江	布津	有家	西有家	北有馬	南有馬	口之津	加津佐	合計
平成17年	847	679	1,351	1,027	1,195	1,265	290	1,119	7,773
令和2年	565	423	707	393	583	602	124	650	4,047
減少率(%)	33.3	37.7	47.7	61.7	51.2	52.4	57.2	41.9	47.9

農業者年金加入者 男性412人 女性178人

窓口業務のデジタル化推進について

議員 昨年導入されたデジタルシステムの利用状況、問題点、業務拡大は。

総務部長 申請書作成支援36件、事前申請3件、キャッシュレス454件。市民の選択肢の一つとして導入。周知不足だが、転入転出が多い場合に効果がある。業務は順次拡大したい。
議員 各種証明書のコンビニ交付は。
市民生活部長 導入に向けて協議しており、令和7年度末までに行われる国のシステム標準化対応後の令和8年度中の導入を検討中。



備蓄しているバーテーション

学校給食費の無償化を前向きに考えておいていただきたい



林田 久富 議員

令和6年度施政方針について
【市外出身高校生への支援】

議員 市外の生徒が本市の高校入学を希望した経緯と周知について尋ねる。
市長 全国大会などに出場している陸上部に入部する生徒、また在学中に国家資格が取得できる福祉科に入学する生徒などがある。周知については、各高校や同窓会などを通じて行われている。

【農業振興】
議員 市長は南島原市の

農業の現実を考えたとき、国・県の施策が本市の農業に十分対応できていると思うか。

市長 国・県のいろんな事業の対象になる分野では支援をしてもらうような働きかけはしているが、みなさんが思われるような支援の在り方には、物足りないという状況ではあると思う。

【子育て支援の充実】

議員 「南島原市こども家庭センター」に配置をする職員の業務内容と職種・人員は。

福祉保健部長 妊娠・出産・子育てに関する保健衛生面の相談、家庭訪問、乳幼児の健康診査や予防接種、不妊治療費や妊産婦医療費の助成、出産・子育て応援給付金の支給など母子保健面に関する業務、子育て家庭からの福祉面の相談やDVの相談、支援、児童手当や児童扶養手当の支給や医療費の助成、保育所・認定こども園、放課後児童クラブ

などの運営支援など児童福祉に関する業務を一体的に行う。配置人員は正規職員で、保健師が6名、栄養士1名、社会福祉士1名、事務職員9名、センター長1名の計18名で、こども未来課の職員を充てる。他に会計年度任用職員が、助産師が2名、栄養士が1名、家庭児童相談員が2名、母子父子自立支援員が1名、事務職員が2名の計8名で、全体では26名でスタートをする。



田中次廣 委員長

予算審査特別委員長報告(概要)

〔議案第15号〕「令和6年度南島原市一般会計予算案」を原案可決

主な質疑

〔総務部関係〕
質疑 消防団員の準中型免許取得に対する補助額は。

答弁 オートマ限定解除に4万円、準中型以上取得に11万円補助する。28名を予定している。

質疑 防災行政無線整備事業の内容は。

答弁 防災行政無線の工事内容は、親局の西有家庁舎の操作卓の工事と、上原中継局と、8か所の再送信局の工事は終わっており、現在、各自治会内に立っている屋外子局の建て替えと移設工事等を行っている。

〔地域振興部関係〕

質疑 空き家活用推進事業では、市が一定期間借受けて改修し、貸し出す事業と思うが、ニーズがあるのか。一定期間とはどの程度か。一定期間が過ぎた後どうなるのか。

答弁 いい空き家があったら住みたいという移住検討者が多くあり、リフォームしたら来てもらえるものと考えている。現在、1件の設計委託を進めており、来年度はあと2件見つけながら、3件を目標にしていきたい。一定の期間は、家を10年ほど借受け、10年たったから、所有者に返す形を考えている。

〔市民生活部関係〕
質疑 マイナンバーの申請受付が、現在行われていると思うが、来年度も行うのか。
答弁 来年度も受付を行う。

質疑 庁舎関係のLED化リース契約のメリットは。
答弁 リース契約は、器具内の安定器やインバーターを外し、外部からの配線を端子に直結する方法で、照明器具交換と比

較の場合、既存器具に対する改修になるため、導入コストが大幅に抑制されるメリットがある。

〔教育委員会関係〕

質疑 B & G海洋センター関係で、今年度は一般財源で、採択された場合、次年度以降の建設事業は、B & Gの補助を100%使うということか。

答弁 全体で10億5,752万円申請をしており、解体費等は補助対象外で、計画で約5,700万円程度的一般財源が必要となる。採択されると10億円以内の補助があり、不採択の場合はゼロとなる。

質疑 学校給食費管理費で、値上がり分の811万円の補助金について。

答弁 学校給食会原油価格・物価高騰対策補助金は、来年度、給食費が1人1食当たり15円上がり、月額で小・中学校とも400円上がるので、これに対する給食費の補助である。

〔環境水道部関係〕

質疑 今まで市が行って

議会運営委員会視察研修報告

令和6年1月23日(火)～24日(水)
 副委員長 田中克彦

1月23日(火) 兵庫県川西市 ペーパーレスへの取組

令和4年6月から試行し、令和4年10月の改選後の定例会よりペーパーレスを実施した。

予算や決算などは、複数の資料があるため、一つの画面ではスムーズに対応できないので、紙で配布しているが、その他はペーパーレスで行っている。また、情報通信機器の使用に関する要綱を策定し、ルールを決めて、パソコン・タブレット・スマホを会議に持ち込んで活用している。一般質問の通告においては、字句や表現の訂正があるの、メールでの提出は行っていない。

川西市は10年以上の年月をかけて取り組まれて



川西市の研修

1月24日(水) 大阪府堺市 百舌鳥古墳群ビジターセンター

百舌鳥・古市古墳群は、古墳時代に築造された古代日本列島の王たちの墓群で、令和元年7月に世界遺産登録が決定された。ビジターセンターの建設については、約26億円を投じて3階建ての施設



百舌鳥古墳群ビジターセンターの視察

いた。本市議会においても課題を解消しつつ、自分たちでルールを決め、計画的に取り組んでいく必要がある。

現在、南島原市では、世界遺産センター建設が計画されているが、センターのみで集客を考えると、南島原市全体に多くの方が来てもらえるようにすることが、施設の成功にもつながると考える。

いた合併浄化槽の点検を、民間に移行するということだが、移行してくださいというお願いなのか。

答弁 市が管理し清掃している合併浄化槽に関して、2～3年かけて民間に移行するというところで、今年度から始めていく。民間事業者が3社あり、できる限り民間へ移っていただくようお願いしている。

〔建設部関係〕

質疑 生活環境道路整備事業補助金として3千万円予算計上がされているが、これを超える要望があった場合、補正を予定されるのか。

答弁 地元要望に沿った形で予算要求を行っており、予算を超える要望があった場合、補正要求をしていきたい。

〔福祉保健部関係〕

質疑 本年度から実施した妊産婦医療費助成金の実績は。
答弁 現在、申請者23名で113万6千円となっ

の建設を計画していたが、現市長が多額の事業費などを問題視して中止し、既存の建物を利用した案内施設で事業費は約2.2億円となった。

施設は文化庁の補助金を活用して整備。映像とパネル展示により古墳群の魅力を伝える「入門施設」と位置づけ、詳細は「堺市博物館」で見てもらうことですみわけを行っている。入場料は無料である。

また、小規模な農業生産基盤整備事業の具体的な内容は。
答弁 フロンティアで研修をされている2人の進路は、今年の10月に新規就農する予定である。農業用施設整備支援事業は、工事費の限度額が200万円以内の8割まで補助金として支出している。

質疑終了後
 修正を求める動議を議題とし、提出者からの説明の後、動議に対する質疑を行い、原案に賛成する討論と、修正案に賛成する討論を行い、起立採決の結果、修正案は起立少数により否決された。

次に、原案について、起立により採決の結果起立多数により原案のおり可決することに決定した。

総務委員長報告(概要)

・議案3件を原案可決、議案1件を撤回内諾
・承認1件を承認

【承認第1号】専決処分の承認を求めることについて(令和5年度南島原市一般会計補正予算(第9号))

【質疑】低所得世帯支援給付金について説明を。

【答弁】今年度、低所得世帯、非課税世帯への臨時交付金7万円の交付があり、それだけでは物価高騰対応に不十分だということ、住民税課税世帯の中で、均等割のみ課税されているところにも、10万円を給付するもので、それに係る財源は国が100%負担することになっている。

(討論なし)

採決の結果、承認

【議案第2号】南島原市ふるさと応援寄附条例の一部を改正する条例について

【質疑】寄附額の金額はいくらが一番多いのか。

【答弁】1万円台が一番多い。

(討論なし)

採決の結果、原案可決

【議案第3号】南島原市コミュニティ原城条例の一部を改正する条例について

【質疑】真砂のお風呂の改修をするために、入浴料を引き上げなければならぬのか。

【答弁】改修が目的ではなく、燃油高騰に伴う日常的な経費の増加に対応するため適正な価格でお願いしたい。



原城温泉真砂

【議案第12号】令和5年度南島原市一般会計補正予算(第10号)

【総務部関係】

【質疑】防火水槽の設置は、年に何か所予定しているのか。

【答弁】4か所程度予定している。



防火水槽

【質疑】地域おこし協力隊とは、どういう人なのか。

【答弁】商工観光課の所管で、そうめん後継者関係の方である。

【質疑】西有家2分団詰所の完成時期と、消防ポンプ車の納車時期は。

【答弁】消防詰所の竣工予定時期は6月上旬で、今発注している消防ポンプ車については、コロナ禍の影響で、納車が遅れている。

の影響で、納車が遅れている。

【地域振興部関係】

【質疑】地域産業雇用創出チャレンジ支援事業補助金は、どういう補助金なのか。

【答弁】雇用を条件として、事業を拡大される事業者に対して行う補助金。

【質疑】いーとばいチケット事業が繰り越しされているが、今後の予定は。

【答弁】5月上旬を目安にチケットを交付する準備を進めている。

(討論なし)

採決の結果、原案可決

【長崎県の施策に関する要望・提案に係る市議会からの提案について】

総務委員会に関する5件について協議を行い、各項目について、事業の進捗に合せて、表現の変更を行い報告するよう決定した。

文教厚生委員長報告(概要)

・承認1件を承認、議案7件を原案可決

【議案第9号】南島原市社会体育施設条例の一部を改正する条例について

【質疑】白木野体育館は更地にした後、どうするか。また、計画的に廃止予定の場所はあるのか。

【答弁】更地後はそのままの状態。今後の計画は、利用が減っている北有馬の田平体育館を予定している。

【質疑】加津佐ゲートボール場の廃止後はどのように活用するのか。また、白木野体育館及びそのゲートボール場の土地は、市の財産なのか、借地なのか。

【答弁】加津佐ゲートボール場は、フェンス撤去後、松林の状態に戻す。白木野体育館は市の財産で、ゲートボール場は海浜地である。



加津佐ゲートボール場

(討論なし)

採決の結果、原案可決

【議案第12号】令和5年度南島原市一般会計補正予算(第10号)

【福祉保健部関係】

【質疑】島原地域広域市町村圏組合負担金6,904万円の減額について、半島3市の負担割合はどのようになっているのか。また、高齢化率が関係するのか。

【答弁】3市の負担割合は、島原市が32・97%、雲仙市が31・6%、南島原市が35・43%で、南島原市が一番高い割合となっている。また、人口割

【質疑】燃油高騰対策のために料金を上げるといっているが、計算はしているのか。

【答弁】年間の利用者を過去平均約6万5千人で試算すると、今回料金を100円値上げした場合、約470万円の収入増につながるので、そのくらいで対応できないかと考えている。

(討論)

○反対討論

料金が上がるということ、はつきりと幾らぐらいになるのか聞いていないし、地元の人に安い金額でと言われたけど、その回答もできていない。このまま、この議案には賛成しかねるので、反対。

起立採決の結果(賛成4・反対1) 原案可決

やサービスの給付に応じて、負担割合も変わる。

【質疑】生活保護費3千万円の減額理由は。また、仕事により収入が増えて、生活保護を廃止になる方はいるのか。

【答弁】減額の理由は、生活保護受給者が年々減っているためである。また、就労で廃止になる方は、令和5年度中は1件もなかった。

【質疑】就労以外で生活保護を受けられなくなることはあるのか。

【答弁】一番多い事例は死亡や引取り扶養で、その他に、少しずつ貯められた累積金でしばらく生活できる場合がある。

【市民生活部関係】

【質疑】税金の納付で、MINAコインの割合はどれくらいか。また、本市が負担する手数料はいくらか。

【答弁】MINAコインの納付については、令和4年

度実績で1,617件、3,483万200円、令和5年度は、1月31日現在で、2,060件、4,163万1,300円となる。手数料は、1件当たり56円である。

【質疑】マイナンバーカードの普及率はどれくらいか。

【答弁】1月31日現在で、申請件数は3万3,567枚、申請率は78・88%である。

【教育委員会関係】

【質疑】学力向上のための非常勤講師等配置支援事業費県補助金618万円の減額について、実際に非常勤講師が不足して減額になっているのか。

【答弁】支援員は21名を確保しており、全ての学校に1名ずつ配置できている。補助金の減額については、実際予定していた県の補助金が少なかったためである。

【質疑】今現在、正規職員で病休や産休などにより人員が不足しているのか。

【答弁】小・中学校における産休育休等の代替者の状況について、現在は全ての学校に代替者を充てることができている。

【質疑】埋蔵文化財発掘調査事業3,099万円の減額については、発掘作業員が不足しているのか。

【答弁】作業員の不足ではなく、国のシーリングにより補助金が少なくなっただけである。

【長崎県の施策に関する要望・提案に係る市議会からの提案について】

文教厚生委員会に関係する4件について協議を行い、そのうち、医師の確保と地域における医療機関偏在の是正については、昨年度意見を出し、ある程度の返答があったので今回は取り下げるが、市内で開業医の閉院が続き、地域の医師確保が難

【その他の案件】

【承認第1号】専決処分の承認を求めることについて(令和5年度南島原市一般会計補正予算(第9号))

【議案第4号】南島原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

【議案第13号】令和5年度南島原市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

【議案第14号】令和5年度南島原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

【議案第16号】令和6年度南島原市国民健康保険事業特別会計予算

【議案第17号】令和6年度南島原市後期高齢者医療特別会計予算

農林水産・建設委員長報告(概要)

・議案8件を原案可決

【議案第6号】南島原市道路工用料徴収条例の一部を改正する条例について

【質疑】新旧対照表を見ると、道路工用料が値上がりした部分、値下がりした部分があるが、その根拠は。

【答弁】道路工用料は、国が評価した路線価格課税の評価額に基づいて、算定された占用料となる。

【討論なし】

採決の結果、原案可決

【議案第7号】南島原市自然環境、景観等と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例の一部を改正する条例について

【質疑】施行日以前に設置してあった事業所にも適用することだが、その事業所の把握及び周知については、何か考えているのか。

【答弁】事業者の把握はできていないが、周知については、広報紙やホームページで、図りたい。

【質疑】太陽光発電設備を設置した場合、道路、田畑等に被害があった場合、被害を受けた人は、どういった対応をすればよいのか。

【答弁】事業区域が0.5ha以上の事業者には、雨水対策の指導もできるが、0.5ha未満の事業者については、行政的な指導ができないため、地域住民とトラブルがないように、事前に事業者と話をして、地域住民に説明をするようお願いしている。

【討論なし】

採決の結果、原案可決

【議案第8号】南島原市公共下水道条例の一部を改正する条例について

【質疑】市内に六価クロムが混入する可能性がある事業所はあるのか。

【答弁】下水道法における特定事業者は市内にはないと考えている。

【討論なし】

採決の結果、原案可決

【議案第11号】市道路線の廃止及び変更について

【質疑】どういった理由で廃止をするのか。また、廃止後の管理はどうなるのか。

【答弁】ほとんど利用されていないことを確認して廃止をしている。また、市道の廃止後は地元管理となるが、地域の方々から要望があった場合、必要な部分については対応をしたい。

【質疑】市道廃止になると地元管理が発生する。廃

止路線については、きちんと地元説明を行うべきではないのか。

【答弁】廃止路線の現地調査時、周知はしていない。道路状況によっては、今後説明は必要と考える。

【討論なし】

採決の結果、原案可決

【議案第18号】令和6年度南島原市水道事業会計予算

【質疑】昨年、南島原市水道料金等審議会を設置し、検討をしていくとのことだったが、審議会の状況は。

【答弁】昨年11月30日に審議会を設置した。今年2月の審議会より、改定額の協議を実施し、令和6年度中に答申を出したいと考えている。

【討論なし】

採決の結果、原案可決

【議案第19号】令和6年度南島原市下水道事業会計予算

【長崎県の施策に関する要望・提案に係る市議会からの提案について】

農林水産・建設委員会の関係する10件の項目について協議を行い、そのうち、畑地帯総合整備事業(担い手育成型)の予算確保の要望内容について、新規地区の事業推進を追加し、要望してほしいとの意見があった。

〈その他の議案〉

【議案第5号】南島原市漁港管理条例の一部を改正する条例について

【議案第12号】令和5年度南島原市一般会計補正予算(第10号)について

島原半島市議会議員合同研修会

令和6年1月26日(金)、雲仙市の国見町文化会館まほろばにて、第12回島原半島市議会議員合同研修会が開催されました。この研修会は、島原半島の3市が連携し、地域の課題解決に共に取り組むことを目的としています。

今回の研修会では、島原振興局農林水産部の山本奉彦部長が講師として招かれ、「長崎県・島原半島の農業：概要と振興対策」というテーマで講演を行いました。島原半島の農林水産業について、様々な視点から詳しく学ぶことができ、参加者にとって大変有意義な時間となりました。



▶研修会の様子

南島原市を視察されました

令和6年2月7日(水)、みやき町議会 総務文教常任委員会が、南島原市多目的運動広場の行政視察に訪れました。みやき町は令和2年1月に「女子サッカーのまち宣言」を行い、その旗艦となる施設として多目的人工芝グラウンド等整備事業を現在計画中で、さらなる事業展開につなげたいということでした。

研修では、TEAMひまわりの中嶋さんから、運動広場整備に至った経緯や維持管理、利用状況などの説明があり、その後、施設とグラウンドの現地視察をされました。多くの議員から様々な質問があり、活発な意見交換がなされました。



▶説明会の様子

人事案件

人権擁護委員
(令和6年7月1日から 令和9年6月30日)

平山 智恵美 氏 (南有馬町)

中村 信彦 氏 (南有馬町)

松島 輝子 氏 (有家町)

固定資産評価 審査委員会委員
(令和6年5月26日から 令和9年5月25日)

板山 雅幸 氏 (有家町)

井口 敬次 氏 (南有馬町)

栗田 幸隆 氏 (口之津町)



○：賛成
×：反対
-：欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17	18
議案番号	寺澤佳洋	松本添花	日向栄司	井上修一	田中克彦	末統浩一郎	永池充宏	酒井光則	中村哲康	高木和恵	隈部和久	林田久富	松永忠次	小嶋光明	黒岩英雄	吉岡巖	田中次廣
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○	-	○
議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○	-	○
議案第15号	修正案	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	-	×	×	-	×
	原案	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	-	○	○	-	○

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
議案第1号	南島原市長及び副市長の給与に関する条例の一部を改正する条例について	令和6年2月22日	原案可決
報告第1号	専決処分の報告について(南島原市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について)	令和6年3月4日	受理
報告第2号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)	令和6年3月4日	受理
報告第3号	専決処分の報告について(南島原市国民健康保険条例の一部を改正する条例について)	令和6年3月4日	受理
報告第4号	専決処分の報告について(南島原市営住宅条例の一部を改正する条例について)	令和6年3月4日	受理
報告第5号	専決処分の報告について(南島原市監査委員に関する条例の一部を改正する条例について)	令和6年3月4日	受理
報告第6号	専決処分の報告について(南島原市水道事業給水条例の一部を改正する条例について)	令和6年3月4日	受理
報告第7号	専決処分の報告について(南島原市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部を改正する条例について)	令和6年3月4日	受理
報告第8号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)	令和6年3月4日	受理
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度南島原市一般会計補正予算(第9号))	令和6年3月22日	承認
議案第2号	南島原市ふるさと応援寄附条例の一部を改正する条例について	令和6年3月22日	原案可決
議案第3号	南島原市コミュニティ原城条例の一部を改正する条例について	令和6年3月22日	原案可決
議案第4号	南島原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	令和6年3月22日	原案可決
議案第5号	南島原市漁港管理条例の一部を改正する条例について	令和6年3月22日	原案可決
議案第6号	南島原市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	令和6年3月22日	原案可決
議案第7号	南島原市自然環境、景観等と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例の一部を改正する条例について	令和6年3月22日	原案可決
議案第8号	南島原市公共下水道条例の一部を改正する条例について	令和6年3月22日	原案可決
議案第9号	南島原市社会体育施設条例の一部を改正する条例について	令和6年3月22日	原案可決
議案第10号	財産の処分について(旧深江学校給食センター)	令和6年3月22日	原案撤回
議案第11号	市道路線の廃止及び変更について	令和6年3月22日	原案可決
議案第12号	令和5年度南島原市一般会計補正予算(第10号)	令和6年3月22日	原案可決
議案第13号	令和5年度南島原市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	令和6年3月22日	原案可決
議案第14号	令和5年度南島原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	令和6年3月22日	原案可決
議案第15号	令和6年度南島原市一般会計予算	令和6年3月22日	原案可決
議案第16号	令和6年度南島原市国民健康保険事業特別会計予算	令和6年3月22日	原案可決
議案第17号	令和6年度南島原市後期高齢者医療特別会計予算	令和6年3月22日	原案可決
議案第18号	令和6年度南島原市水道事業会計予算	令和6年3月22日	原案可決
議案第19号	令和6年度南島原市下水道事業会計予算	令和6年3月22日	原案可決
議案第20号	令和5年度南島原市一般会計補正予算(第11号)	令和6年3月22日	原案可決
報告第9号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)	令和6年3月22日	受理
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	令和6年3月22日	答申(適任)
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	令和6年3月22日	答申(適任)
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	令和6年3月22日	答申(適任)
同意第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	令和6年3月22日	同意
同意第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	令和6年3月22日	同意
同意第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	令和6年3月22日	同意
	閉会中における各委員会の継続調査申出について	令和6年3月22日	決定

賛否討論

採決が分かれた議案のうち、主な意見を紹介します。

〔議案第3号〕南島原市コミュニティ原城条例の一部を改正する条例について

〔反対〕 上限を大人700円にして、子供は300円のまま。市長はTEAMひまわりと連携した宿泊プラン等により売上げを上げたいというような答弁をされた。宿泊が多くなれば入湯税もかさむので、なぜ子供の上限が300円から上げなかったのか疑問もあり賛成しかねる。

〔議案第12号〕令和5年度南島原市一般会計補正予算(第10号)

〔反対〕 聖マリア観音像に隣接するところにトイレを造るとのことだったが、この予算が執行されずに繰り越されると聞いた。約3千万円のトイレを造るのではなく、1台

〔議案第15号〕令和6年度南島原市一般会計予算における修正を求める動議について

〔修正動議〕 世界遺産センター整備事業4億3,786万3千円を削減いたすべく所要の修正をするもの。過去2度にわたる本市の将来への負の遺産となる懸念が拭えないとの理由で、修正案を提出し、いずれも否決されたが、市からの完成後の運営に関することや集客予想数、その根拠の説明等を受けた上でなお、建設することのみが目的化され、この事業が本市の活性化の起爆剤になるとは到底思えない。中期

430万円の自走式トイレを2台置くようにすれば、予算も要らない、被災地にも貸すことができる。私たちもいつどこでどうなるか分からない。今まだ建設がなされていないことも含めて、当初予定されたトイレの建設には反対し、自走式トイレを買ってほしい。

財政見通しが大変厳しい中、建設する必要があるのか。議会議員としての将来にわたる予算の議決への責任に鑑み提出する。

〔原案に賛成〕 昨年の第1回定例会で議会として議論を尽くした結果、予算が成立した。既に事業が実施されている中で、今回同じような議論を行うことは非常に違和感を感じる。事業計画については若干の遅れはあるものの、供用開始の時期に影響はないと聞いており、財源の面では、事業費の大半が国からの支援が得られるものであり、市としては非常に有利な条件で事業が進められている。現時点で事業を中止すれば、これまでに事業に投じた予算が無駄になることはもとより、世界遺産センター以外の事業の財源にも影響が出るのではないかと。原城周辺にはマリア像が設置され、団体客等も増えている。相乗効果により、世界遺産センター周辺を含む南島原市全体の活性化も期待できるものと考えられる。

〔原案に賛成〕 過去2回にわたって同様の趣旨で修正動議が出されたが、既に議会としての意思は決定している。つまり、世界遺産センター整備事業について、議会として実施を認めたということが市民に対して明確に示されている。情勢が大きな変化がないにもかかわらず、同様の理由をもって修正動議を出すことは、事業の実施をいたずらに阻害する要因となり、市政運営そのものに悪影響を及ぼし、さらには議会の見識を問われることになるものと考えられる。世界遺産原城跡の価値を高め、さらには、本市活性化の起爆剤ともなりうる施設。市議会は、今後この施設が順調に整備され、供用開始後は、より効果的に活用され、市の活性化に結びつくよう、助言、協力をしていくことこそが責務。

先のこと。2050年には人口2万人を切るのか、働き手が7千人だとか、そういうことを考えると、市の負担になるかどうか、建物を建てるのはいいかなものか。将来的には負の財産となる。それよりもっと自分たちの生活に必要なところに財源を充てていただきたいという声が多すぎる。

〔原案に賛成〕 世界遺産センターを造ることは、ゴールではなくスタート。自転車歩行者専用道路も併設しており、深江の道の駅、加津佐B&Gのちょうど中間地点で、市の活性化になると思う。市外の方からは、その当時のままの何もない状態を見るのが心に感じるところがあり、また行きたい。ただ、途中で休憩する場所やお土産を買おう場所がないという声を伺った。負の遺産ではなく、今後南島原市が今以上に発展していける、人口減少対策にもつながると思ってい

〔修正案に賛成〕 私たちが1番大事にしたいのは

追悼

令和6年2月4日、井上末喜議員が逝去されました。

旧口之津町議会議員を2期勤められ、南島原市議会議員の5期目半ばでした。

この間、南島原市議会副議長等の要職を歴任され、市政発展のために貢献されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

南島原市議会一同



次回の定例会は

令和6年6月18日(火) 開会の予定です

編集後記

令和6年は元日から能登半島地震が発生し、現在もなお多くの皆様が、避難生活を強いられ、生活に不可欠なライフラインの復旧も進まず、苦しい生活を送っておられます。全国の自治体から災害復旧のため多くの職員が派遣され、また、多くのボランティアの皆様が支援を続けておられます。一日も早く日常を取り戻すことができるようお祈りいたします。

半島における大規模災害の発生は、南島原市を含めた島原半島においても懸念されるところです。多くの断層を抱える島原半島でも大規模地震の発生は想定をされているところですが、防災に対する心構えと防災物資の備蓄など更なる対策が必要と感じております。

令和6年は元日から能登半島地震が発生し、現在もなお多くの皆様が、避難生活を強いられ、生活に不可欠なライフラインの復旧も進まず、苦しい生活を送っておられます。全国の自治体から災害復旧のため多くの職員が派遣され、また、多くのボランティアの皆様が支援を続けておられます。一日も早く日常を取り戻すことができるようお祈りいたします。

広報編集特別委員会で学ばせていただいたことを、今後の議員活動の糧として、生かしていきたいと思っております。これからも「議会だより」をご愛読いただきますようお願いいたします。

議会だよりの編集に携わってから早いもので2年が経過しようとしています。

議会広報編集特別委員会

委員長 末統浩二郎



編集特別委員会

委員長	末統浩二郎	副委員長	寺澤 佳洋
委員	松本 添花	委員	日向 栄司
委員	酒井 光則	委員	田中 次廣

(発行責任者)

議長 吉田幸一郎

お問い合わせ

☆議会だよりに、御意見、御感想がありましたら、**議会事務局「議会だより」係**までお願いします。

〒859-2202 南島原市有家町山川58番地1

☎ 0957-73-6611

メールアドレス: gikai@city.minamishimabara.lg.jp